

複数AI対応の業務支援サービス

ウェブサイト制作やシステム開発を手がけるサンロフト（静岡県焼津市）は、対話型AI（人工知能）「Chat（チャット）GPT」など複数のAIに対応した業務支援サービス「Buddie S（バディーズ）」の提供を始めた。中小企業の営業、マーケティング業務を対象に、文書作成やデータ分析などに応じて適したAIを利用できる。

バディーズに搭載されているAIは米オープンAIのChatGPT、米グーグルのGemini（ジェミニ）、米アンソロピックのClaude（クロード）の3種類で、今後追加していく予定だという。それぞれの特性に応じて適したAIを自動で使うほか、利用者が選ぶこともできる。

対応する機能は文書の作成・校正やメール返信、SNS運用、提案資料の作成など40種類。AIに関する専門知識は不要で、プロンプト（指示文）があらかじめ設定されており、質問に答えるだけで利用できる。利用料金は1社あたり月2万円で、AIの利用度合いに応じた料金が別途かかる。